



「国内初」普及型ドローンによる造林木の自動抽出 -造林検査業務の省力化- 現地検討会のお知らせ

信州大学「レーザセンシングによるスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム（代表 信州大学農学部 教授 加藤正人）は、政府の進める未来戦略 2020「農林水産業全体にわたる改革とスマート農林水産業の実現」でベストプラクティスとして支援を受けながら先導的に実証研究を進めています。『スマート林業技術』のさらなる展開に向け、令和 2 年度現地検討会を北信森林管理署霊仙寺山国有林のスギ 3 年生の造林地で行います。

信州大学は、これまで関係機関と連携を図りながら、収穫時期にある針葉樹人工林を対象にドローンレーザによるスマート精密林業技術の開発を進めてきました。

伐採地が増える一方で、造林地も増加しており、造林補助事業は毎年全国で約 20 万件以上あり、林務職員が減少する中で、ドローンによる事業の簡素・効率化が期待されています。

今回、北信森林管理署管内の下刈り箇所を上空から撮影し、調査・検証を行いました。

信州大学は令和 2 年度、「国内初」となるドローンで造林地の全域を空撮し、撮影した画像から A I（機械学習）による造林木の特定の技術開発に成功しました。

10 月 28 日（水）、「ドローンによる造林木の自動抽出」の現地検討会を開催いたしますので、ご取材いただきたくご案内申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

◆開催日時：令和2年10月28日（水）午後1時～2時（受付開始 30分前）

※雨天順延 令和2年10月29日（木）午後1時～2時（受付開始 30分前）

◆主 催：信州大学、中部森林管理局北信森林管理署

◆集合場所：道の駅しなの 駐車場

〒389-1305 長野県上水内郡信濃町柏原 1260 番地 4

◆内容

- ・ドローンのデモンストレーション飛行
- ・解析結果の紹介
- ・解析結果の現地検証 画像確認しながら参加者全員で
- ・質疑応答

<お問い合わせ>

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学農学部 事務局（担当：藤川）

tel：0265-77-1305 E-mail：fujikawa_shougo@gm.shinshu-u.ac.jp